

令和元年度 生物研究会 活動計画

1 指導体制

主顧問 若松麻美

顧問 村澤匠

2 年間目標

- ・ 自らテーマをみつけ、生物を探究する。
- ・ 生命を尊重し、愛情をもって接し、生物への理解を深める。
- ・ 生物に関する知識を共有する。

3 指導方針

- ・ 生命尊重を第一として、生物の飼育・栽培に真剣に取り組ませる。
- ・ 生物に対する興味・関心を高め、自ら探究する活動の魅力に気付かせる。
- ・ 各種研究発表会や創作展への参加を推奨し、助言を行う。
- ・ 部員が自ら学び、情報を積極的に共有したり、議論したりする文化を涵養する。
- ・ 生物研究会の組織構造を整理し、部員一人一人を部活動の運営に参画させ、責任感と帰属意識をもたせる。
- ・ 休日は完全休養日とする（長期休業中・大型連休中を除く）。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・ 指導と暴力、暴言は違うことを顧問間で確認し、全顧問で徹底する。

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・ 互いに敬意をもって接する文化を涵養する
- ・ 上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決をはかることのないことを日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

- ・ 施設見学等の際に、専門家の講義や指導を積極的に受ける。

(4) 生物の探究

野外観察や施設見学の機会を通して、生物に関する関心を高め、部員が自らテーマを見つけられるよう導く。テーマ決定後は、論文検索や実験・観察の指導を行う。研究活動の進捗状況を適宜確認し、成果の発信に向けて助言を行う。

(5) 研究会の組織化

部活動内に、以下の委員会を設置する。部員は全員がいずれかの委員会に所属し、部活動の運営に参画することとする。

- ・ 野外観察・施設見学企画委員会
- ・ 飼育・栽培計画委員会
- ・ 学習会委員会
- ・ 研究室の保守・管理委員会
- ・ 部誌作成委員会

5 部員数

	男子	女子	合計
1年	3	4	7
2年	4	4	8
3年	2	3	5
4年	3	0	3
5年	2	1	3
6年	1	5	6
合計	15	17	32

6 活動日及び活動場所

【活動日】 週2～5日（公式活動日は火曜日及び木曜日）

【休養日】 毎週 水曜日 及び 土曜日、日曜日

※研究の進捗等に応じて、各自が柔軟に活動し、指導を受ける。

【活動時間】

（平日） 16:00～18:00

（週休日等） 活動なし

【活動場所】 生物教室

7 大会等の主な記録（過去3年）

平成28年度	平成29年度	平成30年度
	日本生物学オリンピック2017敢闘賞、特別賞 第59回日本植物生理学会年会・高校生物研究発表会 優秀賞	日本生物学オリンピック2018敢闘賞

8 年間（月別）活動計画（今年度の参加予定大会を含む）

月	週休日の活動日数	内 容
4	0回	研究活動
5	0回	新入生の指導、組織再編
6	0回	野外観察会・施設見学会、部内委員会活動
7	0回	新入生研究テーマ検討、生物学オリンピック参加
8	0回	部誌作成・創作展発表準備
9	0回	創作展展示
10	0回	野外観察会・施設見学会
11	0回	各種学会・発表会参加準備
12	0回	各種学会・発表会参加
1	0回	野外観察会・施設見学会
2	0回	部内研究発表会
3	0回	野外観察会・施設見学会、部誌作成、年間レビュー